

宮古盛岡横断道路 平津戸松草道路・区界道路『起工式』

～ 震災後に新規事業化された県内の復興道路がすべて着工しました！ ～

道路建設課

平成26年8月24日（日）、宮古市区界にて、宮古盛岡横断道路「平津戸松草道路・区界道路」の起工式を国、県、宮古市、盛岡市の共催で開催しました。

起工式には、国土交通省東北地方整備局長、知事、宮古市長、盛岡市長をはじめ、国会議員、県議会議員、市議会議員の方々、沿線住民の方々など多数の関係者が出席しました。

オープニングセレモニーとして地元保存会による「田代念仏剣舞」が披露されたほか、起工式では工事の安全と一日も早い完成を祈念して、関係者と地元小学生による鍬入れや工事の土砂をダンプで搬出する工事着工セレモニーなどが行われました。



地元保存会の皆様による「田代念仏剣舞」



達増知事挨拶



縄田東北地方整備局長挨拶



村井岩手河川国道事務所長による事業経過報告



達増拓也知事、山本正徳宮古市長、谷藤裕明盛岡市長をはじめ、鈴木俊一衆議院議員、畑浩治衆議院議員、平野達男参議院議員、主濱了参議院議員、門馬小学校・川目小学校の生徒の方々ほかご来賓の皆様による鍬入れ

今回の『起工式』をもって、震災後に新規事業化された三陸沿岸道路等の**県内の復興道路はすべて工事着手**となりますが、これも**地権者の方々をはじめとする地域住民の方々、国土交通省、沿線市町村等関係者の皆様の御尽力の賜物であり、改めて感謝いたします。**

早期の完成に向けて、県としても引き続き関係機関との調整など事業の円滑化に協力していきます。



工事着工セレモニーの様子

【宮古盛岡横断道路の概要】

宮古盛岡横断道路は、宮古市と盛岡市を結ぶ延長約 100km の地域高規格道路※1 で、**県の復興計画において「復興道路」と位置付けています。**

県が施行する「宮古西道路」のほか、**震災後**に、宮古箱石道路（宮古～箱石）約 33 km、平津戸松草道路（平津戸・岩井～松草）約 7 km、区界道路（区界～築川）約 8 kmの3区間が**国の直轄権限代行事業として新規事業化**され、**国の復興のリーディングプロジェクトとして、かつてないスピードで事業が進められています。**

※1 東北縦貫自動車道等の高規格幹線道路と一体となり、交流促進や空港・港湾への連絡等を強化する路線



平津戸松草道路は、延長約7kmのうち、約6kmがトンネルと橋りょうで大部分の区間が構造物で占められます。また、区界道路は、本路線の最大の交通難所である「区界峠」を回避するもので、**新区界トンネルは延長 4,998m と東北では3番目、県内では最長の道路トンネル**となります。

これらの整備により、急カーブ、急勾配区間、がけ崩れの危険箇所等の解消による**安全な交通の確保**や、所要時間の短縮による**宮古～盛岡間のアクセス性**や**救急医療施設への速達性の向上**、**地域間の交流・連携の促進、産業振興等への寄与が期待されます。**

【平津戸松草道路】

- ・計画延長 7.0 km※2
- ・計画幅員 13.5m～12.0m
- ・主な構造物※3 平津戸トンネル 3,221m
与部沢トンネル 1,042m
岩井第一トンネル 674m



【区界道路】

- ・計画延長 8.0 km※2
- ・計画幅員 13.5m
- ・主な構造物※3 新区界トンネル 4,998m
築川トンネル 1,582m
去石跨線橋 207m



※2 延長については設計途中であり、確定値ではない

※3 構造物の名称は仮称